

Q001

添付文書 | 4択

問題：添付文書について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

ウ. 添付文書は専門家向けの資料であり、一般用医薬品の使用者が読む必要はな...

エ. 添付文書は、医薬品を適正に使用するための重要な情報源である。

答え・解説

正答：エ. 添付文書は、医薬品を適正に使用するための重要な情報源である。

超簡単な解説：添付文書には効能効果、用法用量、使用上の注意、保管方法などが記載される。

要点：添付文書は、医薬品を適正に使用するための重要な情報源である。

Q002

添付文書 | ○ ×

問題：添付文書は、医薬品を適正に使用するための重要な情報源である。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：添付文書には効能効果、用法用量、使用上の注意、保管方法などが記載される。

要点：添付文書は、医薬品を適正に使用するための重要な情報源である。

Q003

添付文書 | 2択

問題：添付文書について正しいものはどれか。（基本確認）

選択肢

ア. 一般用医薬品は、使用前に添付文書や外箱表示を確認することが重要である。

イ. 以前使った薬なら、添付文書を確認せずに同じ使い方をしてよい。

答え・解説

正答：ア. 一般用医薬品は、使用前に添付文書や外箱表示を確認することが重要である。

超簡単な解説：同じような症状でも適する薬は変わるため、使用前確認が必要である。

要点：一般用医薬品は、使用前に添付文書や外箱表示を確認することが重要である。

Q004

添付文書 | ○ ×

問題：以前使った薬なら、添付文書を確認せずに同じ使い方をしてよい。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：同じような症状でも適する薬は変わるため、使用前確認が必要である。

要点：一般用医薬品は、使用前に添付文書や外箱表示を確認することが重要である。

Q005

添付文書 | 4択

問題：添付文書について正しいものはどれか。（販売時の確認）

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 添付文書は購入直後に捨て、外箱だけを残せば十分である。

ウ. 添付文書は、使用中に確認できるよう保管しておくことが望ましい。

エ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

答え・解説

正答：ウ. 添付文書は、使用中に確認できるよう保管しておくことが望ましい。

超簡単な解説：副作用や相談事項の確認に必要なため、添付文書の保管が重要である。

要点：添付文書は、使用中に確認できるよう保管しておくことが望ましい。

Q006

添付文書 | ○ ×

問題：添付文書は、使用中に確認できるよう保管しておくことが望ましい。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：副作用や相談事項の確認に必要なため、添付文書の保管が重要である。

要点：添付文書は、使用中に確認できるよう保管しておくことが望ましい。

Q007

添付文書の改訂 | 4択

問題：添付文書の改訂について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。
ウ. 添付文書の記載内容は、安全性情報などにより改訂されることがある。
エ. 添付文書は承認時に一度作成されると、その後改訂されることはない。

答え・解説

正答：ウ. 添付文書の記載内容は、安全性情報などにより改訂されることがある。

超簡単な解説：副作用情報や使用上の注意の見直しにより、添付文書は改訂されることがある。

要点：添付文書の記載内容は、安全性情報などにより改訂されることがある。

Q008

添付文書の改訂 | ○ ×

問題：添付文書は承認時に一度作成されると、その後改訂されることはない。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：副作用情報や使用上の注意の見直しにより、添付文書は改訂されることがある。

要点：添付文書の記載内容は、安全性情報などにより改訂されることがある。

Q009

使用上の注意 | 2択

問題：使用上の注意について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 「してはいけないこと」は、守らないと症状悪化や副作用事故につながりや...
イ. 「してはいけないこと」は販売者向けの参考情報で、使用者は守らなくても...

答え・解説

正答：ア. 「してはいけないこと」は、守らないと症状悪化や副作用事故につながりやすい事項である。

超簡単な解説：禁忌や併用禁止など重要な安全情報が示される。

要点：「してはいけないこと」は、守らないと症状悪化や副作用事故につながりやすい事項である。

Q010

使用上の注意 | ○ ×

問題：「してはいけないこと」は、守らないと症状悪化や副作用事故につながりやすい事項である。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：禁忌や併用禁止など重要な安全情報が示される。

要点：「してはいけないこと」は、守らないと症状悪化や副作用事故につながりやすい事項である。

Q011

使用上の注意 | 4択

問題：使用上の注意について正しいものはどれか。（基本確認）

選択肢

ア.「相談すること」は、使用前または使用後に医師・薬剤師・登録販売者へ相...

イ.「相談すること」に該当しても、自己判断で長期連用してよい。

ウ.症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

エ.一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

答え・解説

正答：ア.「相談すること」は、使用前または使用後に医師・薬剤師・登録販売者へ相談すべき事項である。

超簡単な解説：基礎疾患、妊娠、併用薬、副作用症状などは相談が必要である。

要点：「相談すること」は、使用前または使用後に医師・薬剤師・登録販売者へ相談すべき事項である。

Q012

使用上の注意 | ◯×

問題：「相談すること」に該当しても、自己判断で長期連用してよい。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：基礎疾患、妊娠、併用薬、副作用症状などは相談が必要である。

要点：「相談すること」は、使用前または使用後に医師・薬剤師・登録販売者へ相談すべき事項である。

Q013

効能効果 | 4択

問題：効能効果について正しいものはどれか。

選択肢

ア.症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ.一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

ウ.効能効果に記載がなくても、似た症状なら自己判断で使用してよい。

エ.一般用医薬品は、表示された効能効果の範囲内で使用する。

答え・解説

正答：エ.一般用医薬品は、表示された効能効果の範囲内で使用する。

超簡単な解説：承認された効能効果を越えた使用は適正使用とはいえない。

要点：一般用医薬品は、表示された効能効果の範囲内で使用する。

Q014

効能効果 | ◯×

問題：一般用医薬品は、表示された効能効果の範囲内で使用する。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：承認された効能効果を越えた使用は適正使用とはいえない。

要点：一般用医薬品は、表示された効能効果の範囲内で使用する。

Q015

用法用量 | 2択

問題：用法用量について正しいものはどれか。

選択肢

ア.用法用量は、年齢・回数・間隔・服用量を守る必要がある。

イ.早く効かせるためには、用法用量を超えて服用するのが正しい。

答え・解説

正答：ア.用法用量は、年齢・回数・間隔・服用量を守る必要がある。

超簡単な解説：過量使用は副作用リスクを高める。

要点：用法用量は、年齢・回数・間隔・服用量を守る必要がある。

Q016

用法用量 | ○ ×

問題：早く効かせるためには、用法用量を超えて服用するのが正しい。

選択肢
○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：過量使用は副作用リスクを高める。

要点：用法用量は、年齢・回数・間隔・服用量を守る必要がある。

Q017

成分重複 | 4択

問題：成分重複について正しいものはどれか。

選択肢
ア. 一般用医薬品同士なら成分が重複しても副作用は増えない。
イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。
ウ. 複数の一般用医薬品を併用する場合、同じ成分や同効薬の重複に注意する。
エ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

答え・解説

正答：ウ. 複数の一般用医薬品を併用する場合、同じ成分や同効薬の重複に注意する。

超簡単な解説：総合感冒薬、解熱鎮痛薬、鼻炎薬などでは成分重複が起こりやすい。

要点：複数の一般用医薬品を併用する場合、同じ成分や同効薬の重複に注意する。

Q018

成分重複 | ○ ×

問題：複数の一般用医薬品を併用する場合、同じ成分や同効薬の重複に注意する。

選択肢
○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：総合感冒薬、解熱鎮痛薬、鼻炎薬などでは成分重複が起こりやすい。

要点：複数の一般用医薬品を併用する場合、同じ成分や同効薬の重複に注意する。

Q019

保管方法 | 4択

問題：保管方法について正しいものはどれか。

選択肢
ア. 医薬品は浴室や車内など高温多湿の場所に保管しても品質に影響しない。
イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
ウ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。
エ. 医薬品は、直射日光・高温多湿を避け、添付文書の貯法に従って保管する。

答え・解説

正答：エ. 医薬品は、直射日光・高温多湿を避け、添付文書の貯法に従って保管する。

超簡単な解説：温度・湿度・光は品質低下の要因となる。

要点：医薬品は、直射日光・高温多湿を避け、添付文書の貯法に従って保管する。

Q020

保管方法 | ○ ×

問題：医薬品は浴室や車内など高温多湿の場所に保管しても品質に影響しない。

選択肢
○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：温度・湿度・光は品質低下の要因となる。

要点：医薬品は、直射日光・高温多湿を避け、添付文書の貯法に従って保管する。

Q021

小児の誤飲防止 | 2択

問題：小児の誤飲防止について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 小児用医薬品は安全性が高いため、小児の手の届く場所に置いてもよい。

イ. 医薬品は小児の手の届かない場所に保管する。

答え・解説

正答：イ. 医薬品は小児の手の届かない場所に保管する。

超簡単な解説：誤飲事故を防ぐため、保管場所の管理が重要である。

要点：医薬品は小児の手の届かない場所に保管する。

Q022

小児の誤飲防止 | ◯×

問題：医薬品は小児の手の届かない場所に保管する。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：誤飲事故を防ぐため、保管場所の管理が重要である。

要点：医薬品は小児の手の届かない場所に保管する。

Q023

容器の移し替え | 4択

問題：容器の移し替えについて正しいものはどれか。

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

ウ. 医薬品を別の容器へ移し替えると、誤用や品質低下の原因になる。

エ. 飲みやすくするため、医薬品は別容器へ移し替えて保管するのが望ましい。

答え・解説

正答：ウ. 医薬品を別の容器へ移し替えると、誤用や品質低下の原因になる。

超簡単な解説：容器の移し替えはラベル喪失、誤飲、吸湿などのリスクがある。

要点：医薬品を別の容器へ移し替えると、誤用や品質低下の原因になる。

Q024

容器の移し替え | ◯×

問題：飲みやすくするため、医薬品は別容器へ移し替えて保管するのが望ましい。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：容器の移し替えはラベル喪失、誤飲、吸湿などのリスクがある。

要点：医薬品を別の容器へ移し替えると、誤用や品質低下の原因になる。

Q025

使用期限 | 4択

問題：使用期限について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

ウ. 未開封なら、使用期限を過ぎても効果と安全性は保証される。

エ. 使用期限を過ぎた医薬品は、品質が保証できないため使用しない。

答え・解説

正答：エ. 使用期限を過ぎた医薬品は、品質が保証できないため使用しない。

超簡単な解説：使用期限は適切な保管条件下で品質が確保される期限である。

要点：使用期限を過ぎた医薬品は、品質が保証できないため使用しない。

Q026

使用期限 | ○ ×

問題：使用期限を過ぎた医薬品は、品質が保証できないため使用しない。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：使用期限は適切な保管条件下で品質が確保される期限である。

要点：使用期限を過ぎた医薬品は、品質が保証できないため使用しない。

Q027

外箱表示 | 2択

問題：外箱表示について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 外箱は販売促進用であり、医薬品の安全使用に必要な情報はない。
イ. 外箱にはリスク区分、成分、効能効果、用法用量、使用上の注意など重要情...

答え・解説

正答：イ. 外箱にはリスク区分、成分、効能効果、用法用量、使用上の注意など重要情報が記載される。

超簡単な解説：外箱表示は購入前の確認にも役立つ。

要点：外箱にはリスク区分、成分、効能効果、用法用量、使用上の注意など重要情報が記載される。

Q028

外箱表示 | ○ ×

問題：外箱は販売促進用であり、医薬品の安全使用に必要な情報はない。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：外箱表示は購入前の確認にも役立つ。

要点：外箱にはリスク区分、成分、効能効果、用法用量、使用上の注意など重要情報が記載される。

Q029

リスク区分 | 4択

問題：リスク区分について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
イ. リスク区分はメーカーの販売戦略上の分類で、安全対策とは関係ない。
ウ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。
エ. 一般用医薬品のリスク区分は、購入者への情報提供や陳列の判断に関係する。

答え・解説

正答：エ. 一般用医薬品のリスク区分は、購入者への情報提供や陳列の判断に関係する。

超簡単な解説：要指導、第1類、第2類、第3類などの区分に応じて対応が異なる。

要点：一般用医薬品のリスク区分は、購入者への情報提供や陳列の判断に関係する。

Q030

リスク区分 | ○ ×

問題：一般用医薬品のリスク区分は、購入者への情報提供や陳列の判断に関係する。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：要指導、第1類、第2類、第3類などの区分に応じて対応が異なる。

要点：一般用医薬品のリスク区分は、購入者への情報提供や陳列の判断に関係する。

Q031

製造番号 | 4択

問題：製造番号について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。
ウ. 製造番号は購入者向けの抽選番号であり、安全対策には関係しない。

エ. 製造番号は、回収や品質問題発生時に対象製品を特定するために重要である。

答え・解説

正答：エ. 製造番号は、回収や品質問題発生時に対象製品を特定するために重要である。

超簡単な解説：ロットの特定により、必要な回収や情報提供が可能になる。

要点：製造番号は、回収や品質問題発生時に対象製品を特定するために重要である。

Q032

製造番号 | ○×

問題：製造番号は購入者向けの抽選番号であり、安全対策には関係しない。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：ロットの特定により、必要な回収や情報提供が可能になる。

要点：製造番号は、回収や品質問題発生時に対象製品を特定するために重要である。

Q033

副作用 | 2択

問題：副作用について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品は安全性が高いため、副作用は発生しない。
イ. 副作用は、医薬品の期待する作用以外に現れる有害な反応を含む。

答え・解説

正答：イ. 副作用は、医薬品の期待する作用以外に現れる有害な反応を含む。

超簡単な解説：一般用医薬品でも副作用は起こり得るため、異常時の中止・相談が必要である。

要点：副作用は、医薬品の期待する作用以外に現れる有害な反応を含む。

Q034

副作用 | ○×

問題：副作用は、医薬品の期待する作用以外に現れる有害な反応を含む。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：一般用医薬品でも副作用は起こり得るため、異常時の中止・相談が必要である。

要点：副作用は、医薬品の期待する作用以外に現れる有害な反応を含む。

Q035

副作用時の対応 | 4択

問題：副作用時の対応について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。
ウ. 使用後に発疹、かゆみ、息苦しさなど異常が現れた場合は、使用を中止し相談する。
エ. 副作用が疑われても、症状が軽ければ同じ薬を増量して様子を見る。

答え・解説

正答：ウ. 使用後に発疹、かゆみ、息苦しさなど異常が現れた場合は、使用を中止し相談する。

超簡単な解説：副作用が疑われる症状では継続使用により悪化するおそれがある。

要点：使用後に発疹、かゆみ、息苦しさなど異常が現れた場合は、使用を中止し相談する。

Q036

副作用時の対応 | ◯ ×

問題：副作用が疑われても、症状が軽ければ同じ薬を増量して様子を見る。

選択肢
◯ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：副作用が疑われる症状では継続使用により悪化するおそれがある。

要点：使用後に発疹、かゆみ、息苦しさなど異常が現れた場合は、使用を中止し相談する。

Q037

重篤な皮膚障害 | 4択

問題：重篤な皮膚障害について正しいものはどれか。

選択肢
ア. スティーブンス・ジョンソン症候群では、高熱、目の充血、粘膜のただれ、...
イ. スティーブンス・ジョンソン症候群は軽い眠気だけを主症状とする副作用で...
ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
エ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

答え・解説

正答：ア. スティーブンス・ジョンソン症候群では、高熱、目の充血、粘膜のただれ、広範囲の発疹などに注意する。

超簡単な解説：重篤な皮膚粘膜障害は早期受診が重要である。

要点：スティーブンス・ジョンソン症候群では、高熱、目の充血、粘膜のただれ、広範囲の発疹などに注意する。

Q038

重篤な皮膚障害 | ◯ ×

問題：スティーブンス・ジョンソン症候群では、高熱、目の充血、粘膜のただれ、広範囲の発疹などに注意する。

選択肢
◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：重篤な皮膚粘膜障害は早期受診が重要である。

要点：スティーブンス・ジョンソン症候群では、高熱、目の充血、粘膜のただれ、広範囲の発疹などに注意する。

Q039

アナフィラキシー | 2択

問題：アナフィラキシーについて正しいものはどれか。

選択肢
ア. アナフィラキシーでは、じんましん、息苦しさ、血圧低下、意識障害などが...
イ. アナフィラキシーは数か月かけてゆっくり進む軽い胃腸症状だけである。

答え・解説

正答：ア. アナフィラキシーでは、じんましん、息苦しさ、血圧低下、意識障害などが急速に現れることがある。

超簡単な解説：急性で全身性の重いアレルギー反応であり、緊急対応が必要になる。

要点：アナフィラキシーでは、じんましん、息苦しさ、血圧低下、意識障害などが急速に現れることがある。

Q040

アナフィラキシー | ◯ ×

問題：アナフィラキシーは数か月かけてゆっくり進む軽い胃腸症状だけである。

選択肢
◯ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：急性で全身性の重いアレルギー反応であり、緊急対応が必要になる。

要点：アナフィラキシーでは、じんましん、息苦しさ、血圧低下、意識障害などが急速に現れることがある。

Q041

肝機能障害 | 4択

問題：肝機能障害について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 医薬品による肝機能障害では、皮膚や尿の色の変化は一切起こらない。

ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

エ. 医薬品により、全身倦怠感、黄疸、褐色尿などを伴う肝機能障害が起こるこ...

答え・解説

正答：エ. 医薬品により、全身倦怠感、黄疸、褐色尿などを伴う肝機能障害が起こることがある。

超簡単な解説：肝機能障害が疑われる症状では使用中止と受診が必要である。

要点：医薬品により、全身倦怠感、黄疸、褐色尿などを伴う肝機能障害が起こることがある。

Q042

肝機能障害 | ○×

問題：医薬品により、全身倦怠感、黄疸、褐色尿などを伴う肝機能障害が起こることがある。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：肝機能障害が疑われる症状では使用中止と受診が必要である。

要点：医薬品により、全身倦怠感、黄疸、褐色尿などを伴う肝機能障害が起こることがある。

Q043

偽アルドステロン症 | 4択

問題：偽アルドステロン症について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 偽アルドステロン症は、血圧低下と高カリウム血症だけを特徴とする。

イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

エ. カンゾウ含有製剤などでは、低カリウム血症、むくみ、血圧上昇、脱力感を...

答え・解説

正答：エ. カンゾウ含有製剤などでは、低カリウム血症、むくみ、血圧上昇、脱力感を伴う偽アルドステロ...

超簡単な解説：カンゾウ・グリチルリチン酸の重複や長期使用で注意が必要である。

要点：カンゾウ含有製剤などでは、低カリウム血症、むくみ、血圧上昇、脱力感を伴う偽アルドステロン症に注意する。

Q044

偽アルドステロン症 | ○×

問題：偽アルドステロン症は、血圧低下と高カリウム血症だけを特徴とする。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：カンゾウ・グリチルリチン酸の重複や長期使用で注意が必要である。

要点：カンゾウ含有製剤などでは、低カリウム血症、むくみ、血圧上昇、脱力感を伴う偽アルドステロン症に注意する。

Q045

間質性肺炎 | 2択

問題：間質性肺炎について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 間質性肺炎では、階段昇降時の息切れ、空咳、発熱などが現れることがある。

イ. 間質性肺炎は、便秘のみを主症状とする副作用である。

答え・解説

正答：ア. 間質性肺炎では、階段昇降時の息切れ、空咳、発熱などが現れることがある。

超簡単な解説：息切れや空咳が続く場合は受診勧奨が必要である。

要点：間質性肺炎では、階段昇降時の息切れ、空咳、発熱などが現れることがある。

Q046

間質性肺炎 | ◯ ×

問題：間質性肺炎では、階段昇降時の息切れ、空咳、発熱などが現れることがある。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：息切れや空咳が続く場合は受診勧奨が必要である。

要点：間質性肺炎では、階段昇降時の息切れ、空咳、発熱などが現れることがある。

Q047

無菌性髄膜炎 | 4択

問題：無菌性髄膜炎について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 無菌性髄膜炎では、発熱、頭痛、吐き気、首の硬直などが現れることがある。

イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

ウ. 無菌性髄膜炎は、手足の軽いかゆみのみで判断できる副作用である。

エ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

答え・解説

正答：ア. 無菌性髄膜炎では、発熱、頭痛、吐き気、首の硬直などが現れることがある。

超簡単な解説：強い頭痛や頂部硬直などがあれば速やかな受診が必要である。

要点：無菌性髄膜炎では、発熱、頭痛、吐き気、首の硬直などが現れることがある。

Q048

無菌性髄膜炎 | ◯ ×

問題：無菌性髄膜炎は、手足の軽いかゆみのみで判断できる副作用である。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：強い頭痛や頂部硬直などがあれば速やかな受診が必要である。

要点：無菌性髄膜炎では、発熱、頭痛、吐き気、首の硬直などが現れることがある。

Q049

消化性潰瘍 | 4択

問題：消化性潰瘍について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 解熱鎮痛成分などでは、胃痛、黒色便、吐血など消化性潰瘍に注意する。

イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

ウ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

エ. 消化性潰瘍では、便が黒くなることはなく、必ず軽い口渇だけが現れる。

答え・解説

正答：ア. 解熱鎮痛成分などでは、胃痛、黒色便、吐血など消化性潰瘍に注意する。

超簡単な解説：消化管出血が疑われる症状は医療機関受診が必要である。

要点：解熱鎮痛成分などでは、胃痛、黒色便、吐血など消化性潰瘍に注意する。

Q050

消化性潰瘍 | ◯ ×

問題：解熱鎮痛成分などでは、胃痛、黒色便、吐血など消化性潰瘍に注意する。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：消化管出血が疑われる症状は医療機関受診が必要である。

要点：解熱鎮痛成分などでは、胃痛、黒色便、吐血など消化性潰瘍に注意する。

Q051

排尿困難 | 2択

問題：排尿困難について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 抗コリン作用をもつ成分は、排尿を必ず促進するため前立腺肥大の人に適す...

イ. 抗コリン作用をもつ成分では、尿が出にくいなど排尿困難に注意する。

答え・解説

正答：イ. 抗コリン作用をもつ成分では、尿が出にくいなど排尿困難に注意する。

超簡単な解説：前立腺肥大など排尿障害がある人では特に注意が必要である。

要点：抗コリン作用をもつ成分では、尿が出にくいなど排尿困難に注意する。

Q052

排尿困難 | ◯×

問題：抗コリン作用をもつ成分は、排尿を必ず促進するため前立腺肥大の人に適する。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：前立腺肥大など排尿障害がある人では特に注意が必要である。

要点：抗コリン作用をもつ成分では、尿が出にくいなど排尿困難に注意する。

Q053

眠気と運転 | 4択

問題：眠気と運転について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 抗ヒスタミン成分を含む医薬品では、眠気により乗物や機械類の運転操作に...

イ. 抗ヒスタミン成分は覚醒作用があるため、服用後の運転に注意は不要である。

ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

エ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

答え・解説

正答：ア. 抗ヒスタミン成分を含む医薬品では、眠気により乗物や機械類の運転操作に注意が必要である。

超簡単な解説：眠気や集中力低下による事故リスクがある。

要点：抗ヒスタミン成分を含む医薬品では、眠気により乗物や機械類の運転操作に注意が必要である。

Q054

眠気と運転 | ◯×

問題：抗ヒスタミン成分を含む医薬品では、眠気により乗物や機械類の運転操作に注意が必要である。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：眠気や集中力低下による事故リスクがある。

要点：抗ヒスタミン成分を含む医薬品では、眠気により乗物や機械類の運転操作に注意が必要である。

Q055

飲酒 | 4択

問題：飲酒について正しいものはどれか。

選択肢

ア. アルコールは一般用医薬品の副作用を弱めるため、併用が推奨される。

イ. 眠気を起こす成分を含む医薬品では、飲酒により眠気や中枢抑制が強まるこ...

ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

エ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

答え・解説

正答：イ. 眠気を起こす成分を含む医薬品では、飲酒により眠気や中枢抑制が強まることがある。

超簡単な解説：飲酒は薬の作用や副作用を増強することがある。

要点：眠気を起こす成分を含む医薬品では、飲酒により眠気や中枢抑制が強まることがある。

Q056

飲酒 | ○ ×

問題：アルコールは一般用医薬品の副作用を弱めるため、併用が推奨される。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：飲酒は薬の作用や副作用を増強することがある。

要点：眠気を起こす成分を含む医薬品では、飲酒により眠気や中枢抑制が強まることがある。

Q057

サリチル酸系成分 | 2択

問題：サリチル酸系成分について正しいものはどれか。

選択肢

ア. アスピリンは小児の発熱時に自己判断で第一選択として使う。
イ. アスピリンなどのサリチル酸系成分は、小児への使用に特に注意が必要であ...

答え・解説

正答：イ. アスピリンなどのサリチル酸系成分は、小児への使用に特に注意が必要である。

超簡単な解説：小児では重篤な副作用との関連が問題となるため、年齢制限や注意事項を守る。

要点：アスピリンなどのサリチル酸系成分は、小児への使用に特に注意が必要である。

Q058

サリチル酸系成分 | ○ ×

問題：アスピリンなどのサリチル酸系成分は、小児への使用に特に注意が必要である。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：小児では重篤な副作用との関連が問題となるため、年齢制限や注意事項を守る。

要点：アスピリンなどのサリチル酸系成分は、小児への使用に特に注意が必要である。

Q059

イブプロフェン | 4択

問題：イブプロフェンについて正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
イ. イブプロフェンを含む一般用医薬品は、年齢制限や妊娠時期などの注意を確...
ウ. イブプロフェンは年齢や妊娠時期に関係なく誰でも同じ用量で使える。
エ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

答え・解説

正答：イ. イブプロフェンを含む一般用医薬品は、年齢制限や妊娠時期などの注意を確認して使用する。

超簡単な解説：解熱鎮痛薬は成分ごとに禁忌・相談事項が異なる。

要点：イブプロフェンを含む一般用医薬品は、年齢制限や妊娠時期などの注意を確認して使用する。

Q060

イブプロフェン | ○ ×

問題：イブプロフェンは年齢や妊娠時期に関係なく誰でも同じ用量で使える。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：解熱鎮痛薬は成分ごとに禁忌・相談事項が異なる。

要点：イブプロフェンを含む一般用医薬品は、年齢制限や妊娠時期などの注意を確認して使用する。

Q061

ロペラミド | 4択

問題：ロペラミドについて正しいものはどれか。

選択肢

- ア. ロペラミドを含む止瀉薬は、小児や感染性下痢が疑われる場合などに注意が...
- イ. 発熱や血便を伴う下痢では、ロペラミドで下痢を止め続けるのが原則である。
- ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
- エ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

答え・解説

正答：ア. ロペラミドを含む止瀉薬は、小児や感染性下痢が疑われる場合などに注意が必要である。

超簡単な解説：感染性下痢では原因物質の排出を妨げるおそれがあり、受診勧奨が必要である。

要点：ロペラミドを含む止瀉薬は、小児や感染性下痢が疑われる場合などに注意が必要である。

Q062

ロペラミド | 〇×

問題：ロペラミドを含む止瀉薬は、小児や感染性下痢が疑われる場合などに注意が必要である。

選択肢

- 〇 / ×

答え・解説

正答：〇

超簡単な解説：感染性下痢では原因物質の排出を妨げるおそれがあり、受診勧奨が必要である。

要点：ロペラミドを含む止瀉薬は、小児や感染性下痢が疑われる場合などに注意が必要である。

Q063

プロメタジン | 2択

問題：プロメタジンについて正しいものはどれか。

選択肢

- ア. プロメタジンを含む製剤は、乳幼児などへの使用制限に注意する。
- イ. プロメタジンは乳幼児の睡眠改善目的に自由に使用できる。

答え・解説

正答：ア. プロメタジンを含む製剤は、乳幼児などへの使用制限に注意する。

超簡単な解説：小児では重篤な副作用に注意が必要で、年齢制限を守る。

要点：プロメタジンを含む製剤は、乳幼児などへの使用制限に注意する。

Q064

プロメタジン | 〇×

問題：プロメタジンは乳幼児の睡眠改善目的に自由に使用できる。

選択肢

- 〇 / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：小児では重篤な副作用に注意が必要で、年齢制限を守る。

要点：プロメタジンを含む製剤は、乳幼児などへの使用制限に注意する。

Q065

睡眠改善薬 | 4択

問題：睡眠改善薬について正しいものはどれか。

選択肢

- ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。
- イ. 睡眠改善薬は一時的な不眠に用い、慢性的な不眠や小児には適さない。
- ウ. 睡眠改善薬は、慢性的な不眠や小児の寝つき改善に長期使用する。
- エ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

答え・解説

正答：イ. 睡眠改善薬は一時的な不眠に用い、慢性的な不眠や小児には適さない。

超簡単な解説：不眠が続く場合は医療機関受診が必要である。

要点：睡眠改善薬は一時的な不眠に用い、慢性的な不眠や小児には適さない。

Q066

睡眠改善薬 | ○ ×

問題：睡眠改善薬は一時的な不眠に用い、慢性的な不眠や小児には適さない。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：不眠が続く場合は医療機関受診が必要である。

要点：睡眠改善薬は一時的な不眠に用い、慢性的な不眠や小児には適さない。

Q067

ブソイドエフェドリン | 4択

問題：ブソイドエフェドリンについて正しいものはどれか。

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

ウ. ブソイドエフェドリンは血圧を下げる作用があるため、高血圧の人に適する。

エ. ブソイドエフェドリンは交感神経刺激作用があり、高血圧や心臓病の人では...

答え・解説

正答：エ. ブソイドエフェドリンは交感神経刺激作用があり、高血圧や心臓病の人では注意が必要である。

超簡単な解説：血圧上昇、動悸などに注意する。

要点：ブソイドエフェドリンは交感神経刺激作用があり、高血圧や心臓病の人では注意が必要である。

Q068

ブソイドエフェドリン | ○ ×

問題：ブソイドエフェドリンは血圧を下げる作用があるため、高血圧の人に適する。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：血圧上昇、動悸などに注意する。

要点：ブソイドエフェドリンは交感神経刺激作用があり、高血圧や心臓病の人では注意が必要である。

Q069

ブソイドエフェドリン | 2択

問題：ブソイドエフェドリンについて正しいものはどれか。（基本確認）

選択肢

ア. ブソイドエフェドリンは、甲状腺機能障害や糖尿病のある人でも相談が必要...

イ. ブソイドエフェドリンは代謝や循環に影響しないため、基礎疾患の確認は不...

答え・解説

正答：ア. ブソイドエフェドリンは、甲状腺機能障害や糖尿病のある人でも相談が必要となることがある。

超簡単な解説：交感神経刺激作用により基礎疾患へ影響することがある。

要点：ブソイドエフェドリンは、甲状腺機能障害や糖尿病のある人でも相談が必要となることがある。

Q070

ブソイドエフェドリン | ○ ×

問題：ブソイドエフェドリンは、甲状腺機能障害や糖尿病のある人でも相談が必要となることがある。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：交感神経刺激作用により基礎疾患へ影響することがある。

要点：ブソイドエフェドリンは、甲状腺機能障害や糖尿病のある人でも相談が必要となることがある。

Q071

緑内障 | 4択

問題：緑内障について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 抗コリン作用をもつ成分は眼圧を必ず下げため、緑内障の人に適する。

ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

エ. 抗コリン作用をもつ成分は、緑内障の症状を悪化させることがある。

答え・解説

正答：エ. 抗コリン作用をもつ成分は、緑内障の症状を悪化させることがある。

超簡単な解説：閉塞隅角緑内障などでは眼圧上昇のリスクがある。

要点：抗コリン作用をもつ成分は、緑内障の症状を悪化させることがある。

Q072

緑内障 | ◯×

問題：抗コリン作用をもつ成分は眼圧を必ず下げため、緑内障の人に適する。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：閉塞隅角緑内障などでは眼圧上昇のリスクがある。

要点：抗コリン作用をもつ成分は、緑内障の症状を悪化させることがある。

Q073

透析患者 | 4択

問題：透析患者について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

イ. アルミニウムを含む胃腸薬などは、透析を受けている人では使用前に相談が...

ウ. 透析中の人は、アルミニウム含有胃腸薬を長期連用しても問題ない。

エ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

答え・解説

正答：イ. アルミニウムを含む胃腸薬などは、透析を受けている人では使用前に相談が必要である。

超簡単な解説：腎機能低下時は成分の蓄積や副作用に注意する。

要点：アルミニウムを含む胃腸薬などは、透析を受けている人では使用前に相談が必要である。

Q074

透析患者 | ◯×

問題：アルミニウムを含む胃腸薬などは、透析を受けている人では使用前に相談が必要である。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：腎機能低下時は成分の蓄積や副作用に注意する。

要点：アルミニウムを含む胃腸薬などは、透析を受けている人では使用前に相談が必要である。

Q075

ステロイド外用薬 | 2択

問題：ステロイド外用薬について正しいものはどれか。

選択肢

ア. ステロイド外用薬は、化膿している部位や真菌・ウイルス感染が疑われる部...

イ. ステロイド外用薬は、感染による皮膚症状にも原因を問わず第一選択で長期...

答え・解説

正答：ア. ステロイド外用薬は、化膿している部位や真菌・ウイルス感染が疑われる部位では注意が必要である。

超簡単な解説：感染症状を悪化・隠蔽する可能性がある。

要点：ステロイド外用薬は、化膿している部位や真菌・ウイルス感染が疑われる部位では注意が必要である。

Q076

ステロイド外用薬 | ○ ×

問題：ステロイド外用薬は、感染による皮膚症状にも原因を問わず第一選択で長期使用する。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：感染症状を悪化・隠蔽する可能性がある。

要点：ステロイド外用薬は、化膿している部位や真菌・ウイルス感染が疑われる部位では注意が必要である。

Q077

ケトプロフェン外用薬 | 4択

問題：ケトプロフェン外用薬について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. ケトプロフェン外用薬では、光線過敏症を防ぐため使用部位を紫外線に当て...

ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

エ. ケトプロフェン外用薬は日光に当てるほど効果が高まる。

答え・解説

正答：イ. ケトプロフェン外用薬では、光線過敏症を防ぐため使用部位を紫外線に当てない注意が必要である。

超簡単な解説：使用中および使用後一定期間、日光曝露に注意する。

要点：ケトプロフェン外用薬では、光線過敏症を防ぐため使用部位を紫外線に当てない注意が必要である。

Q078

ケトプロフェン外用薬 | ○ ×

問題：ケトプロフェン外用薬では、光線過敏症を防ぐため使用部位を紫外線に当てない注意が必要である。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：使用中および使用後一定期間、日光曝露に注意する。

要点：ケトプロフェン外用薬では、光線過敏症を防ぐため使用部位を紫外線に当てない注意が必要である。

Q079

点鼻薬 | 4択

問題：点鼻薬について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

ウ. 血管収縮成分を含む点鼻薬は、長期連用するほど鼻粘膜が正常化する。

エ. 血管収縮成分を含む点鼻薬の長期連用は、鼻づまりを悪化させることがある。

答え・解説

正答：エ. 血管収縮成分を含む点鼻薬の長期連用は、鼻づまりを悪化させることがある。

超簡単な解説：薬剤性鼻炎を避けるため、用法用量・使用期間を守る。

要点：血管収縮成分を含む点鼻薬の長期連用は、鼻づまりを悪化させることがある。

Q080

点鼻薬 | ○ ×

問題：血管収縮成分を含む点鼻薬は、長期連用するほど鼻粘膜が正常化する。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：薬剤性鼻炎を避けるため、用法用量・使用期間を守る。

要点：血管収縮成分を含む点鼻薬の長期連用は、鼻づまりを悪化させることがある。

Q081

瀉下薬 | 2択

問題：瀉下薬について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 刺激性瀉下薬は毎日長期連用するほど自然な排便機能が高まる。
イ. 刺激性瀉下成分を含む便秘薬は、長期連用により効きにくくなる
ことがある。

答え・解説

正答：イ. 刺激性瀉下成分を含む便秘薬は、長期連用により効きにくくなる
ことがある。

超簡単な解説：便秘が続く場合は生活習慣や受診も含めた対応が必要
である。

要点：刺激性瀉下成分を含む便秘薬は、長期連用により効きにくくなる
ことがある。

Q082

瀉下薬 | ○×

問題：刺激性瀉下成分を含む便秘薬は、長期連用により効きにくく
なることがある。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：便秘が続く場合は生活習慣や受診も含めた対応が必要
である。

要点：刺激性瀉下成分を含む便秘薬は、長期連用により効きにくくなる
ことがある。

Q083

カンゾウ重複 | 4択

問題：カンゾウ重複について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
イ. カンゾウは食品由来なので、複数製剤で重複しても副作用は起こら
ない。
ウ. 複数の漢方薬や総合感冒薬の併用では、カンゾウ成分の重複に注意
する。
エ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則で
ある。

答え・解説

正答：ウ. 複数の漢方薬や総合感冒薬の併用では、カン
ゾウ成分の重複に注意する。

超簡単な解説：グリチルリチン酸の過量により偽アルドステロン症の
リスクが高まる。

要点：複数の漢方薬や総合感冒薬の併用では、カンゾウ成分の重複に注意する。

Q084

カンゾウ重複 | ○×

問題：カンゾウは食品由来なので、複数製剤で重複しても副作用は
起こらない。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：グリチルリチン酸の過量により偽アルドステロン症の
リスクが高まる。

要点：複数の漢方薬や総合感冒薬の併用では、カンゾウ成分の重複に注意する。

Q085

医療用医薬品との相互作用 | 4択

問題：医療用医薬品との相互作用について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
イ. 処方薬を服用中でも、一般用医薬品との相互作用を確認する必要は
ない。
ウ. 一般用医薬品を購入する際は、処方薬や持病の確認が重要である。
エ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則で
ある。

答え・解説

正答：ウ. 一般用医薬品を購入する際は、処方薬や持病
の確認が重要である。

超簡単な解説：医療用医薬品との併用で作用増強や副作用が起こるこ
とがある。

要点：一般用医薬品を購入する際は、処方薬や持病の確認が重要である。

Q086

医療用医薬品との相互作用 | ◦ ×

問題：一般用医薬品を購入する際は、処方薬や持病の確認が重要である。

選択肢
◦ / ×

答え・解説

正答：◦

超簡単な解説：医療用医薬品との併用で作用増強や副作用が起こることがある。

要点：一般用医薬品を購入する際は、処方薬や持病の確認が重要である。

Q087

抗ヒスタミン重複 | 2 択

問題：抗ヒスタミン重複について正しいものはどれか。

選択肢
ア. 抗ヒスタミン成分は重複しても眠気や口渇は増えない。
イ. 総合感冒薬、鼻炎薬、乗物酔い薬、睡眠改善薬では抗ヒスタミン成分の重複...

答え・解説

正答：イ. 総合感冒薬、鼻炎薬、乗物酔い薬、睡眠改善薬では抗ヒスタミン成分の重複に注意する。

超簡単な解説：同系統成分の重複は副作用リスクを高める。

要点：総合感冒薬、鼻炎薬、乗物酔い薬、睡眠改善薬では抗ヒスタミン成分の重複に注意する。

Q088

抗ヒスタミン重複 | ◦ ×

問題：抗ヒスタミン成分は重複しても眠気や口渇は増えない。

選択肢
◦ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：同系統成分の重複は副作用リスクを高める。

要点：総合感冒薬、鼻炎薬、乗物酔い薬、睡眠改善薬では抗ヒスタミン成分の重複に注意する。

Q089

解熱鎮痛成分重複 | 4 択

問題：解熱鎮痛成分重複について正しいものはどれか。

選択肢
ア. 解熱鎮痛薬と総合感冒薬の併用では、アセトアミノフェン等の重複に注意す...
イ. 解熱鎮痛成分は複数製剤で重複させるほど安全に早く効く。
ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
エ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

答え・解説

正答：ア. 解熱鎮痛薬と総合感冒薬の併用では、アセトアミノフェン等の重複に注意する。

超簡単な解説：過量摂取は肝障害などのリスクを高める。

要点：解熱鎮痛薬と総合感冒薬の併用では、アセトアミノフェン等の重複に注意する。

Q090

解熱鎮痛成分重複 | ◦ ×

問題：解熱鎮痛薬と総合感冒薬の併用では、アセトアミノフェン等の重複に注意する。

選択肢
◦ / ×

答え・解説

正答：◦

超簡単な解説：過量摂取は肝障害などのリスクを高める。

要点：解熱鎮痛薬と総合感冒薬の併用では、アセトアミノフェン等の重複に注意する。

Q091

受診勧奨 | 4択

問題：受診勧奨について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

ウ. 高熱が続いても、一般用医薬品を長期連用して様子を見るのが原則である。

エ. 高熱が続く、症状が長引く、強い痛みがある場合は受診勧奨が必要である。

答え・解説

正答：エ. 高熱が続く、症状が長引く、強い痛みがある場合は受診勧奨が必要である。

超簡単な解説：セルフメディケーションの範囲を超える可能性がある。

要点：高熱が続く、症状が長引く、強い痛みがある場合は受診勧奨が必要である。

Q092

受診勧奨 | ○ ×

問題：高熱が続いても、一般用医薬品を長期連用して様子を見るのが原則である。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：セルフメディケーションの範囲を超える可能性がある。

要点：高熱が続く、症状が長引く、強い痛みがある場合は受診勧奨が必要である。

Q093

受診勧奨 | 2択

問題：受診勧奨について正しいものはどれか。（基本確認）

選択肢

ア. 血便や黒色便があっても、止瀉薬や胃腸薬で数週間様子を見る。

イ. 血便、黒色便、激しい腹痛を伴う場合は、一般用医薬品で済ませず受診を勧...

答え・解説

正答：イ. 血便、黒色便、激しい腹痛を伴う場合は、一般用医薬品で済ませず受診を勧める。

超簡単な解説：消化管出血や重篤な疾患の可能性がある。

要点：血便、黒色便、激しい腹痛を伴う場合は、一般用医薬品で済ませず受診を勧める。

Q094

受診勧奨 | ○ ×

問題：血便、黒色便、激しい腹痛を伴う場合は、一般用医薬品で済ませず受診を勧める。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：消化管出血や重篤な疾患の可能性がある。

要点：血便、黒色便、激しい腹痛を伴う場合は、一般用医薬品で済ませず受診を勧める。

Q095

受診勧奨 | 4択

問題：受診勧奨について正しいものはどれか。（販売時の確認）

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 胸痛や息苦しさがあっても、OTC薬の追加購入で対応する。

ウ. 胸痛、息苦しさ、意識障害などがある場合は、速やかな医療機関受診が必要...

エ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

答え・解説

正答：ウ. 胸痛、息苦しさ、意識障害などがある場合は、速やかな医療機関受診が必要である。

超簡単な解説：緊急性のある疾患を見逃さないことが重要である。

要点：胸痛、息苦しさ、意識障害などがある場合は、速やかな医療機関受診が必要である。

Q096

受診勧奨 | ○ ×

問題：胸痛や息苦しさがあっても、OTC薬の追加購入で対応する。

選択肢
○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：緊急性のある疾患を見逃さないことが重要である。

要点：胸痛、息苦しさ、意識障害などがある場合は、速やかな医療機関受診が必要である。

Q097

受診勧奨 | 4択

問題：受診勧奨について正しいものはどれか。（使用時の注意）

選択肢
ア. 目の強い痛み、急な視力低下、激しい充血がある場合は受診を勧める。
イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。
ウ. 急な視力低下があっても、一般用点眼薬を長期使用すればよい。
エ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

答え・解説

正答：ア. 目の強い痛み、急な視力低下、激しい充血がある場合は受診を勧める。

超簡単な解説：眼科的緊急疾患の可能性がある。

要点：目の強い痛み、急な視力低下、激しい充血がある場合は受診を勧める。

Q098

受診勧奨 | ○ ×

問題：目の強い痛み、急な視力低下、激しい充血がある場合は受診を勧める。

選択肢
○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：眼科的緊急疾患の可能性がある。

要点：目の強い痛み、急な視力低下、激しい充血がある場合は受診を勧める。

Q099

小児の受診勧奨 | 2択

問題：小児の受診勧奨について正しいものはどれか。

選択肢
ア. 乳幼児がぐったりしていても、市販薬を成人量に近づけて使えばよい。
イ. 乳幼児がぐったりしている、けいれんする、水分が取れない場合は受診勧奨...

答え・解説

正答：イ. 乳幼児がぐったりしている、けいれんする、水分が取れない場合は受診勧奨が必要である。

超簡単な解説：小児は状態が急変しやすく、重症サインでは受診が必要である。

要点：乳幼児がぐったりしている、けいれんする、水分が取れない場合は受診勧奨が必要である。

Q100

小児の受診勧奨 | ○ ×

問題：乳幼児がぐったりしていても、市販薬を成人量に近づけて使えばよい。

選択肢
○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：小児は状態が急変しやすく、重症サインでは受診が必要である。

要点：乳幼児がぐったりしている、けいれんする、水分が取れない場合は受診勧奨が必要である。

Q101

妊婦・授乳婦 | 4択

問題：妊婦・授乳婦について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 妊娠中は胎児への影響がないため、すべての一般用医薬品を自由に使える。

イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

ウ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

エ. 妊娠中または妊娠している可能性のある人は、使用前に相談が必要な医薬品...

答え・解説

正答：エ. 妊娠中または妊娠している可能性のある人は、使用前に相談が必要な医薬品が多い。

超簡単な解説：妊娠時期や成分によって使用可否が異なる。

要点：妊娠中または妊娠している可能性のある人は、使用前に相談が必要な医薬品が多い。

Q102

妊婦・授乳婦 | ◯×

問題：妊娠中または妊娠している可能性のある人は、使用前に相談が必要な医薬品が多い。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：妊娠時期や成分によって使用可否が異なる。

要点：妊娠中または妊娠している可能性のある人は、使用前に相談が必要な医薬品が多い。

Q103

高齢者 | 4択

問題：高齢者について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

ウ. 高齢者は薬に慣れているため、副作用の確認は若年者より不要である。

エ. 高齢者は肝腎機能の低下や併用薬により、副作用が現れやすいことがある。

答え・解説

正答：エ. 高齢者は肝腎機能の低下や併用薬により、副作用が現れやすいことがある。

超簡単な解説：高齢者では併用薬、基礎疾患、排泄機能低下に注意する。

要点：高齢者は肝腎機能の低下や併用薬により、副作用が現れやすいことがある。

Q104

高齢者 | ◯×

問題：高齢者は薬に慣れているため、副作用の確認は若年者より不要である。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：高齢者では併用薬、基礎疾患、排泄機能低下に注意する。

要点：高齢者は肝腎機能の低下や併用薬により、副作用が現れやすいことがある。

Q105

副作用報告制度 | 2択

問題：副作用報告制度について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 医薬品の副作用が疑われる場合、因果関係が明確でなくても報告対象となり...

イ. 副作用報告は、因果関係が完全に証明された場合に限られる。

答え・解説

正答：ア. 医薬品の副作用が疑われる場合、因果関係が明確でなくても報告対象となり得る。

超簡単な解説：疑い段階でも安全対策のため情報収集が必要である。

要点：医薬品の副作用が疑われる場合、因果関係が明確でなくても報告対象となり得る。

Q106

副作用報告制度 | ◯ ×

問題：医薬品の副作用が疑われる場合、因果関係が明確でなくても報告対象となり得る。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：疑い段階でも安全対策のため情報収集が必要である。

要点：医薬品の副作用が疑われる場合、因果関係が明確でなくても報告対象となり得る。

Q107

副作用報告制度 | 4択

問題：副作用報告制度について正しいものはどれか。（基本確認）

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

ウ. 登録販売者も、医薬品の副作用等に関する情報を把握した場合、報告に関与...

エ. 副作用報告は医師だけが行う制度で、登録販売者は関係しない。

答え・解説

正答：ウ. 登録販売者も、医薬品の副作用等に関する情報を把握した場合、報告に関与する専門家である。

超簡単な解説：医薬関係者として販売現場で得た副作用情報の報告が重要である。

要点：登録販売者も、医薬品の副作用等に関する情報を把握した場合、報告に関与する専門家である。

Q108

副作用報告制度 | ◯ ×

問題：副作用報告は医師だけが行う制度で、登録販売者は関係しない。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：医薬関係者として販売現場で得た副作用情報の報告が重要である。

要点：登録販売者も、医薬品の副作用等に関する情報を把握した場合、報告に関与する専門家である。

Q109

PMDA | 4択

問題：PMDAについて正しいものはどれか。

選択肢

ア. PMDAは、医薬品の安全性情報や副作用被害救済制度に関する情報を提供...

イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

ウ. PMDAは医薬品の価格比較サイトであり、安全性情報は扱わない。

エ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

答え・解説

正答：ア. PMDAは、医薬品の安全性情報や副作用被害救済制度に関する情報を提供している。

超簡単な解説：PMDAは医薬品医療機器総合機構で、安全対策と救済制度に関わる。

要点：PMDAは、医薬品の安全性情報や副作用被害救済制度に関する情報を提供している。

Q110

PMDA | ◯ ×

問題：PMDAは、医薬品の安全性情報や副作用被害救済制度に関する情報を提供している。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：PMDAは医薬品医療機器総合機構で、安全対策と救済制度に関わる。

要点：PMDAは、医薬品の安全性情報や副作用被害救済制度に関する情報を提供している。

Q111

緊急安全性情報 | 2択

問題：緊急安全性情報について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 緊急安全性情報は、緊急かつ重大な安全対策が必要な場合に医療関係者等へ...

イ. 緊急安全性情報は、販売促進キャンペーンを知らせる広告資料である。

答え・解説

正答：ア. 緊急安全性情報は、緊急かつ重大な安全対策が必要な場合に医療関係者等へ提供される。

超簡単な解説：重大な副作用や使用制限など、迅速な周知が必要な情報である。

要点：緊急安全性情報は、緊急かつ重大な安全対策が必要な場合に医療関係者等へ提供される。

Q112

緊急安全性情報 | ○×

問題：緊急安全性情報は、販売促進キャンペーンを知らせる広告資料である。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：重大な副作用や使用制限など、迅速な周知が必要な情報である。

要点：緊急安全性情報は、緊急かつ重大な安全対策が必要な場合に医療関係者等へ提供される。

Q113

安全性速報 | 4択

問題：安全性速報について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

ウ. 安全性速報は、一般にブルーレターとも呼ばれ、迅速な安全対策情報提供に...

エ. 安全性速報は、医薬品の新発売を宣伝する資料である。

答え・解説

正答：ウ. 安全性速報は、一般にブルーレターとも呼ばれ、迅速な安全対策情報提供に用いられる。

超簡単な解説：緊急安全性情報ほどではないが、迅速な安全対策が必要な場合に提供される。

要点：安全性速報は、一般にブルーレターとも呼ばれ、迅速な安全対策情報提供に用いられる。

Q114

安全性速報 | ○×

問題：安全性速報は、一般にブルーレターとも呼ばれ、迅速な安全対策情報提供に用いられる。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：緊急安全性情報ほどではないが、迅速な安全対策が必要な場合に提供される。

要点：安全性速報は、一般にブルーレターとも呼ばれ、迅速な安全対策情報提供に用いられる。

Q115

医薬品・医療機器等安全性情報 | 4択

問題：医薬品・医療機器等安全性情報について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

ウ. 医薬品・医療機器等安全性情報は、厚生労働省が収集した副作用情報等に基づ...

エ. 医薬品・医療機器等安全性情報は、一般用医薬品の価格ランキングを掲載す...

答え・解説

正答：ウ. 医薬品・医療機器等安全性情報は、厚生労働省が収集した副作用情報等に基づき安全使用に役立つ...

超簡単な解説：安全性情報は医療関係者等の安全対策に活用される。

要点：医薬品・医療機器等安全性情報は、厚生労働省が収集した副作用情報等に基づき安全使用に役立つ情報を提供する。

Q116

医薬品・医療機器等安全性情報 | ○ ×

問題：医薬品・医療機器等安全性情報は、一般用医薬品の価格ランキングに掲載する制度である。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：安全性情報は医療関係者等の安全対策に活用される。

要点：医薬品・医療機器等安全性情報は、厚生労働省が収集した副作用情報等に基づき安全使用に役立つ情報を提供する。

Q117

DSU | 2択

問題：DSUについて正しいものはどれか。

選択肢

ア. DSUは、医薬品の売上順位を知らせる販売資料である。

イ. DSUは、医薬品の使用上の注意改訂情報を医療関係者等へ知らせる情報で...

答え・解説

正答：イ. DSUは、医薬品の使用上の注意改訂情報を医療関係者等へ知らせる情報である。

超簡単な解説：添付文書改訂など安全対策情報の周知に用いられる。

要点：DSUは、医薬品の使用上の注意改訂情報を医療関係者等へ知らせる情報である。

Q118

DSU | ○ ×

問題：DSUは、医薬品の使用上の注意改訂情報を医療関係者等へ知らせる情報である。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：添付文書改訂など安全対策情報の周知に用いられる。

要点：DSUは、医薬品の使用上の注意改訂情報を医療関係者等へ知らせる情報である。

Q119

回収情報 | 4択

問題：回収情報について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 回収情報では製品名だけ見れば十分で、製造番号やロット確認は不要である。

イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

ウ. 医薬品の回収情報が出た場合、製造番号や使用期限を確認して対象品か判断...

エ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

答え・解説

正答：ウ. 医薬品の回収情報が出た場合、製造番号や使用期限を確認して対象品か判断する。

超簡単な解説：対象ロットの確認により必要な対応を行う。

要点：医薬品の回収情報が出た場合、製造番号や使用期限を確認して対象品か判断する。

Q120

回収情報 | ○ ×

問題：回収情報では製品名だけ見れば十分で、製造番号やロット確認は不要である。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：対象ロットの確認により必要な対応を行う。

要点：医薬品の回収情報が出た場合、製造番号や使用期限を確認して対象品か判断する。

Q121

副作用被害救済制度 | 4択

問題：副作用被害救済制度について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 医薬品副作用被害救済制度は、医薬品を適正に使用したにもかかわらず健康...

イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

エ. 医薬品副作用被害救済制度は、自己判断で過量使用した場合の全損害を必ず...

答え・解説

正答：ア. 医薬品副作用被害救済制度は、医薬品を適正に使用したにもかかわらず健康被害が生じた場合の公的...

超簡単な解説：適正使用にもかかわらず入院治療を要する程度等の健康被害が生じた場合に給付対象となる制度である。

要点：医薬品副作用被害救済制度は、医薬品を適正に使用したにもかかわらず健康被害が生じた場合の公的救済制度である。

Q122

副作用被害救済制度 | ○ ×

問題：医薬品副作用被害救済制度は、医薬品を適正に使用したにもかかわらず健康被害が生じた場合の公的救済制度である。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：適正使用にもかかわらず入院治療を要する程度等の健康被害が生じた場合に給付対象となる制度である。

要点：医薬品副作用被害救済制度は、医薬品を適正に使用したにもかかわらず健康被害が生じた場合の公的救済制度である。

Q123

副作用被害救済制度 | 2択

問題：副作用被害救済制度について正しいものはどれか。（基本確認）

選択肢

ア. 副作用被害救済制度の請求先は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構であ...

イ. 副作用被害救済制度の請求先は、購入したドラッグストアだけである。

答え・解説

正答：ア. 副作用被害救済制度の請求先は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構である。

超簡単な解説：制度の運営窓口はPMDAである。

要点：副作用被害救済制度の請求先は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構である。

Q124

副作用被害救済制度 | ○ ×

問題：副作用被害救済制度の請求先は、購入したドラッグストアだけである。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：制度の運営窓口はPMDAである。

要点：副作用被害救済制度の請求先は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構である。

Q125

副作用被害救済制度 | 4択

問題：副作用被害救済制度について正しいものはどれか。（販売時の確認）

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 副作用被害救済制度の給付は、医薬品の購入代金の返金だけである。

ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

エ. 副作用被害救済制度には、医療費、医療手当、障害年金、遺族年金などの給...

答え・解説

正答：エ. 副作用被害救済制度には、医療費、医療手当、障害年金、遺族年金などの給付がある。

超簡単な解説：健康被害の内容に応じた給付が設けられている。

要点：副作用被害救済制度には、医療費、医療手当、障害年金、遺族年金などの給付がある。

Q126

副作用被害救済制度 | ○ ×

問題：副作用被害救済制度には、医療費、医療手当、障害年金、遺族年金などの給付がある。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：健康被害の内容に応じた給付が設けられている。

要点：副作用被害救済制度には、医療費、医療手当、障害年金、遺族年金などの給付がある。

Q127

副作用被害救済制度 | 4択

問題：副作用被害救済制度について正しいものはどれか。（使用時の注意）

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 救済制度では、医薬品を適正に使用していたことが給付判断で重要になる。

ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

エ. 救済制度では、用法用量を無視した使用でも必ず同じ給付が行われる。

答え・解説

正答：イ. 救済制度では、医薬品を適正に使用していたことが給付判断で重要になる。

超簡単な解説：適正使用であったかが審査上の重要事項である。

要点：救済制度では、医薬品を適正に使用していたことが給付判断で重要になる。

Q128

副作用被害救済制度 | ○ ×

問題：救済制度では、用法用量を無視した使用でも必ず同じ給付が行われる。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：適正使用であったかが審査上の重要事項である。

要点：救済制度では、医薬品を適正に使用していたことが給付判断で重要になる。

Q129

副作用被害救済制度 | 2択

問題：副作用被害救済制度について正しいものはどれか。（制度の確認）

選択肢

ア. 一般用医薬品による副作用被害も、制度の対象となる場合がある。

イ. 副作用被害救済制度は医療用医薬品だけが対象で、一般用医薬品は対象外で...

答え・解説

正答：ア. 一般用医薬品による副作用被害も、制度の対象となる場合がある。

超簡単な解説：一般用医薬品でも適正使用による一定の健康被害は救済対象となり得る。

要点：一般用医薬品による副作用被害も、制度の対象となる場合がある。

Q130

副作用被害救済制度 | ○ ×

問題：一般用医薬品による副作用被害も、制度の対象となる場合がある。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：一般用医薬品でも適正使用による一定の健康被害は救済対象となり得る。

要点：一般用医薬品による副作用被害も、制度の対象となる場合がある。

Q131

救済制度の対象外 | 4択

問題：救済制度の対象外について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

ウ. 救済制度には、対象除外医薬品や軽微な健康被害など、給付対象外となる場...

エ. 医薬品による体調不良であれば、軽微なものもすべて救済給付の対象になる。

答え・解説

正答：ウ. 救済制度には、対象除外医薬品や軽微な健康被害など、給付対象外となる場合がある。

超簡単な解説：制度には給付要件と対象外の範囲がある。

要点：救済制度には、対象除外医薬品や軽微な健康被害など、給付対象外となる場合がある。

Q132

救済制度の対象外 | 〇×

問題：医薬品による体調不良であれば、軽微なものもすべて救済給付の対象になる。

選択肢

〇 / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：制度には給付要件と対象外の範囲がある。

要点：救済制度には、対象除外医薬品や軽微な健康被害など、給付対象外となる場合がある。

Q133

医薬品PLセンター | 4択

問題：医薬品PLセンターについて正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

ウ. 医薬品PLセンターは、医薬品に関する苦情相談や紛争解決を支援する相談...

エ. 医薬品PLセンターは、副作用被害救済制度の給付審査を行う行政機関であ...

答え・解説

正答：ウ. 医薬品PLセンターは、医薬品に関する苦情相談や紛争解決を支援する相談機関である。

超簡単な解説：PLセンターは相談・あっせん等を担い、救済制度の給付審査とは異なる。

要点：医薬品PLセンターは、医薬品に関する苦情相談や紛争解決を支援する相談機関である。

Q134

医薬品PLセンター | 〇×

問題：医薬品PLセンターは、医薬品に関する苦情相談や紛争解決を支援する相談機関である。

選択肢

〇 / ×

答え・解説

正答：〇

超簡単な解説：PLセンターは相談・あっせん等を担い、救済制度の給付審査とは異なる。

要点：医薬品PLセンターは、医薬品に関する苦情相談や紛争解決を支援する相談機関である。

Q135

消費生活センター | 2択

問題：消費生活センターについて正しいものはどれか。

選択肢

ア. 消費生活センターは、商品・サービスの契約トラブルなど消費生活相談の窓...

イ. 消費生活センターは、医薬品の承認審査を行う専門機関である。

答え・解説

正答：ア. 消費生活センターは、商品・サービスの契約トラブルなど消費生活相談の窓口である。

超簡単な解説：医薬品の契約・販売トラブルでは消費生活相談につなぐ場合がある。

要点：消費生活センターは、商品・サービスの契約トラブルなど消費生活相談の窓口である。

Q136

消費生活センター | ◯ ×

問題：消費生活センターは、医薬品の承認審査を行う専門機関である。

選択肢
○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：医薬品の契約・販売トラブルでは消費生活相談につなぐ場合がある。

要点：消費生活センターは、商品・サービスの契約トラブルなど消費生活相談の窓口である。

Q137

誤飲・過量摂取 | 4択

問題：誤飲・過量摂取について正しいものはどれか。

選択肢
ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。
イ. 誤飲や過量摂取では、何を、いつ、どのくらい摂取したかを確認し、必要に...
ウ. 誤飲時は摂取した薬の種類を確認せず、必ず家庭で経過観察だけを行う。
エ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

答え・解説

正答：イ. 誤飲や過量摂取では、何を、いつ、どのくらい摂取したかを確認し、必要に応じて医療機関等へ相談する。

超簡単な解説：成分・量・時間により対応が変わるため、情報確認が重要である。

要点：誤飲や過量摂取では、何を、いつ、どのくらい摂取したかを確認し、必要に応じて医療機関等へ相談する。

Q138

誤飲・過量摂取 | ◯ ×

問題：誤飲や過量摂取では、何を、いつ、どのくらい摂取したかを確認し、必要に応じて医療機関等へ相談する。

選択肢
○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：成分・量・時間により対応が変わるため、情報確認が重要である。

要点：誤飲や過量摂取では、何を、いつ、どのくらい摂取したかを確認し、必要に応じて医療機関等へ相談する。

Q139

誤飲・過量摂取 | 4択

問題：誤飲・過量摂取について正しいものはどれか。（基本確認）

選択肢
ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。
イ. 誤飲時に、自己判断で無理に吐かせることは避ける。
ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
エ. 誤飲した場合は、どの成分でも必ず家庭で吐かせれば安全である。

答え・解説

正答：イ. 誤飲時に、自己判断で無理に吐かせることは避ける。

超簡単な解説：吐かせることで誤嚥や粘膜障害などの危険がある場合がある。

要点：誤飲時に、自己判断で無理に吐かせることは避ける。

Q140

誤飲・過量摂取 | ◯ ×

問題：誤飲した場合は、どの成分でも必ず家庭で吐かせれば安全である。

選択肢
○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：吐かせることで誤嚥や粘膜障害などの危険がある場合がある。

要点：誤飲時に、自己判断で無理に吐かせることは避ける。

Q141

お薬手帳 | 2択

問題：お薬手帳について正しいものはどれか。

選択肢

ア. お薬手帳や服薬中の薬の確認は、相互作用や重複投与の防止に役立つ。

イ. お薬手帳は医療機関だけで使うもので、一般用医薬品の相談には役立たない。

答え・解説

正答：ア. お薬手帳や服薬中の薬の確認は、相互作用や重複投与の防止に役立つ。

超簡単な解説：販売時にも併用薬の確認資料として有用である。

要点：お薬手帳や服薬中の薬の確認は、相互作用や重複投与の防止に役立つ。

Q142

お薬手帳 | ◯ ×

問題：お薬手帳や服薬中の薬の確認は、相互作用や重複投与の防止に役立つ。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：販売時にも併用薬の確認資料として有用である。

要点：お薬手帳や服薬中の薬の確認は、相互作用や重複投与の防止に役立つ。

Q143

服用時点 | 4択

問題：服用時点について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 「食間」は食事中ではなく、食後およそ2時間程度の空腹時を指す。

ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

エ. 「食間」とは、食事をしている最中に服用することである。

答え・解説

正答：イ. 「食間」は食事中ではなく、食後およそ2時間程度の空腹時を指す。

超簡単な解説：食間の意味を誤ると効果や副作用に影響することがある。

要点：「食間」は食事中ではなく、食後およそ2時間程度の空腹時を指す。

Q144

服用時点 | ◯ ×

問題：「食間」とは、食事をしている最中に服用することである。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：食間の意味を誤ると効果や副作用に影響することがある。

要点：「食間」は食事中ではなく、食後およそ2時間程度の空腹時を指す。

Q145

頓服 | 4択

問題：頓服について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

ウ. 頓服は、症状がある時など必要時に服用する使い方であり、定時服用とは異なる。

エ. 頓服は、症状の有無に関係なく毎日決まった時刻に必ず服用することである。

答え・解説

正答：ウ. 頓服は、症状がある時など必要時に服用する使い方であり、定時服用とは異なる。

超簡単な解説：頓服薬も1回量や服用間隔を守る必要がある。

要点：頓服は、症状がある時など必要時に服用する使い方であり、定時服用とは異なる。

Q146

頓服 | ○ ×

問題：頓服は、症状がある時など必要時に服用する使い方であり、定時服用とは異なる。

選択肢
○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：頓服薬も1回量や服用間隔を守る必要がある。

要点：頓服は、症状がある時など必要時に服用する使い方であり、定時服用とは異なる。

Q147

服用方法 | 2択

問題：服用方法について正しいものはどれか。

選択肢
ア. 内服薬は、作用を強めるためにアルコール飲料で服用するのが望ましい。
イ. 内服薬は、原則としてコップ一杯程度の水またはぬるま湯で服用する。

答え・解説

正答：イ. 内服薬は、原則としてコップ一杯程度の水またはぬるま湯で服用する。

超簡単な解説：水なし服用やアルコールとの服用は、薬効や副作用に影響することがある。

要点：内服薬は、原則としてコップ一杯程度の水またはぬるま湯で服用する。

Q148

服用方法 | ○ ×

問題：内服薬は、作用を強めるためにアルコール飲料で服用するのが望ましい。

選択肢
○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：水なし服用やアルコールとの服用は、薬効や副作用に影響することがある。

要点：内服薬は、原則としてコップ一杯程度の水またはぬるま湯で服用する。

Q149

剤形の取扱い | 4択

問題：剤形の取扱いについて正しいものはどれか。

選択肢
ア. 徐放錠や腸溶錠は、早く効かせるために必ず砕いて服用する。
イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
ウ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。
エ. 徐放錠や腸溶錠などは、砕いたり嚙んだりすると設計された放出性が損なわ...

答え・解説

正答：エ. 徐放錠や腸溶錠などは、砕いたり嚙んだりすると設計された放出性が損なわれることがある。

超簡単な解説：剤形には目的があり、自己判断で加工すると副作用や効果低下につながる。

要点：徐放錠や腸溶錠などは、砕いたり嚙んだりすると設計された放出性が損なわれることがある。

Q150

剤形の取扱い | ○ ×

問題：徐放錠や腸溶錠などは、砕いたり嚙んだりすると設計された放出性が損なわれることがある。

選択肢
○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：剤形には目的があり、自己判断で加工すると副作用や効果低下につながる。

要点：徐放錠や腸溶錠などは、砕いたり嚙んだりすると設計された放出性が損なわれることがある。

Q151

点眼薬 | 4択

問題：点眼薬について正しいものはどれか。

選択肢

- ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。
ウ. 点眼薬の容器の先端は、まつ毛や眼に触れないように使用する。
エ. 点眼薬の先端は眼に押し当てると薬液が正確に入る。

答え・解説

正答：ウ. 点眼薬の容器の先端は、まつ毛や眼に触れないように使用する。

超簡単な解説：容器先端の汚染を防ぐため、接触させないことが重要である。

要点：点眼薬の容器の先端は、まつ毛や眼に触れないように使用する。

Q152

点眼薬 | ○×

問題：点眼薬の先端は眼に押し当てると薬液が正確に入る。

選択肢

- / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：容器先端の汚染を防ぐため、接触させないことが重要である。

要点：点眼薬の容器の先端は、まつ毛や眼に触れないように使用する。

Q153

PTP包装 | 2択

問題：PTP包装について正しいものはどれか。

選択肢

- ア. PTP包装は薬を保護するため、そのまま飲み込むのが正しい。
イ. PTP包装のまま飲み込むと、食道などを傷つける危険がある。

答え・解説

正答：イ. PTP包装のまま飲み込むと、食道などを傷つける危険がある。

超簡単な解説：PTP誤飲は重篤な消化管障害につながることもある。

要点：PTP包装のまま飲み込むと、食道などを傷つける危険がある。

Q154

PTP包装 | ○×

問題：PTP包装のまま飲み込むと、食道などを傷つける危険がある。

選択肢

- / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：PTP誤飲は重篤な消化管障害につながることもある。

要点：PTP包装のまま飲み込むと、食道などを傷つける危険がある。

Q155

計量器具 | 4択

問題：計量器具について正しいものはどれか。

選択肢

- ア. シロップ剤などは、添付の計量カップやスポイトを用いて正確に量る。
イ. シロップ剤は目分量や家庭のスプーンで量っても常に正確である。
ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
エ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

答え・解説

正答：ア. シロップ剤などは、添付の計量カップやスポイトを用いて正確に量る。

超簡単な解説：小児用量では少量差でも過量・不足につながり得る。

要点：シロップ剤などは、添付の計量カップやスポイトを用いて正確に量る。

Q156

計量器具 | ○ ×

問題：シロップ剤は目分量や家庭のスプーンで量っても常に正確である。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：小児用量では少量差でも過量・不足につながり得る。

要点：シロップ剤などは、添付の計量カップやスポイトを用いて正確に量る。

Q157

外用薬の共用 | 4択

問題：外用薬の共用について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 点眼薬や軟膏などは、感染防止のため他人と共用しない。
イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
ウ. 家族内であれば、点眼薬や軟膏を共用しても感染リスクはない。
エ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

答え・解説

正答：ア. 点眼薬や軟膏などは、感染防止のため他人と共用しない。

超簡単な解説：容器や薬液の汚染により感染が広がるおそれがある。

要点：点眼薬や軟膏などは、感染防止のため他人と共用しない。

Q158

外用薬の共用 | ○ ×

問題：点眼薬や軟膏などは、感染防止のため他人と共用しない。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：容器や薬液の汚染により感染が広がるおそれがある。

要点：点眼薬や軟膏などは、感染防止のため他人と共用しない。

Q159

冷所保存 | 2択

問題：冷所保存について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 冷所保存の医薬品でも、凍結させると品質が変化することがある。
イ. 冷所保存の医薬品は、凍らせれば凍らせるほど品質が安定する。

答え・解説

正答：ア. 冷所保存の医薬品でも、凍結させると品質が変化することがある。

超簡単な解説：冷蔵が必要な場合でも凍結回避が必要な製品がある。

要点：冷所保存の医薬品でも、凍結させると品質が変化することがある。

Q160

冷所保存 | ○ ×

問題：冷所保存の医薬品は、凍らせれば凍らせるほど品質が安定する。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：冷蔵が必要な場合でも凍結回避が必要な製品がある。

要点：冷所保存の医薬品でも、凍結させると品質が変化することがある。

Q161

廃棄 | 4択

問題：廃棄について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 何の薬が分からなくなった医薬品でも、症状が似ていれば使用してよい。

イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

ウ. 期限切れや使用目的が不明な医薬品は、自己判断で使用せず適切に廃棄する。

エ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

答え・解説

正答：ウ. 期限切れや使用目的が不明な医薬品は、自己判断で使用せず適切に廃棄する。

超簡単な解説：誤用防止のため、識別できない薬は使わない。

要点：期限切れや使用目的が不明な医薬品は、自己判断で使用せず適切に廃棄する。

Q162

廃棄 | ◯×

問題：期限切れや使用目的が不明な医薬品は、自己判断で使用せず適切に廃棄する。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：誤用防止のため、識別できない薬は使わない。

要点：期限切れや使用目的が不明な医薬品は、自己判断で使用せず適切に廃棄する。

Q163

相談記録 | 4択

問題：相談記録について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

ウ. 販売時の相談内容や対応は、必要に応じて記録し、個人情報として適切に扱...

エ. 相談記録は販売促進のため、本人同意なく公開してよい。

答え・解説

正答：ウ. 販売時の相談内容や対応は、必要に応じて記録し、個人情報として適切に扱う。

超簡単な解説：相談記録は安全対応に役立つが、個人情報保護も必要である。

要点：販売時の相談内容や対応は、必要に応じて記録し、個人情報として適切に扱う。

Q164

相談記録 | ◯×

問題：相談記録は販売促進のため、本人同意なく公開してよい。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：相談記録は安全対応に役立つが、個人情報保護も必要である。

要点：販売時の相談内容や対応は、必要に応じて記録し、個人情報として適切に扱う。

Q165

処方薬の自己中止 | 2択

問題：処方薬の自己中止について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品を使うために、処方薬を自己判断で中止してはいけない。

イ. 一般用医薬品を使う時は、処方薬を必ず自己判断で中止する。

答え・解説

正答：ア. 一般用医薬品を使うために、処方薬を自己判断で中止してはいけない。

超簡単な解説：処方薬の中止は治療悪化につながるため、医師・薬剤師に相談する。

要点：一般用医薬品を使うために、処方薬を自己判断で中止してはいけない。

Q166

処方薬の自己中止 | ◯ ×

問題：一般用医薬品を使うために、処方薬を自己判断で中止してはいけない。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：処方薬の中止は治療悪化につながるため、医師・薬剤師に相談する。

要点：一般用医薬品を使うために、処方薬を自己判断で中止してはいけない。

Q167

サプリメントとの相互作用 | 4択

問題：サプリメントとの相互作用について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

ウ. 健康食品やサプリメントも、医薬品との相互作用に注意が必要である。

エ. 健康食品は食品なので、医薬品との相互作用は一切起こらない。

答え・解説

正答：ウ. 健康食品やサプリメントも、医薬品との相互作用に注意が必要である。

超簡単な解説：セントジョーンズワートなど、医薬品作用に影響する例がある。

要点：健康食品やサプリメントも、医薬品との相互作用に注意が必要である。

Q168

サプリメントとの相互作用 | ◯ ×

問題：健康食品は食品なので、医薬品との相互作用は一切起こらない。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：セントジョーンズワートなど、医薬品作用に影響する例がある。

要点：健康食品やサプリメントも、医薬品との相互作用に注意が必要である。

Q169

作業時の注意 | 4択

問題：作業時の注意について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

ウ. 眠気やめまいが出ても、OTC薬であれば車の運転に影響しない。

エ. 眠気、めまい、かすみ目を起こす医薬品では、車の運転や危険作業に注意す…

答え・解説

正答：エ. 眠気、めまい、かすみ目を起こす医薬品では、車の運転や危険作業に注意する。

超簡単な解説：事故予防のため、添付文書の運転操作注意を守る。

要点：眠気、めまい、かすみ目を起こす医薬品では、車の運転や危険作業に注意する。

Q170

作業時の注意 | ◯ ×

問題：眠気、めまい、かすみ目を起こす医薬品では、車の運転や危険作業に注意する。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：事故予防のため、添付文書の運転操作注意を守る。

要点：眠気、めまい、かすみ目を起こす医薬品では、車の運転や危険作業に注意する。

Q171

便秘薬 | 2択

問題：便秘薬について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 便秘薬は、腹痛・吐き気・嘔吐を伴う便秘では使用前に相談が必要である。

イ. 強い腹痛を伴う便秘では、刺激性便秘薬を増量して使うのが原則である。

答え・解説

正答：ア. 便秘薬は、腹痛・吐き気・嘔吐を伴う便秘では使用前に相談が必要である。

超簡単な解説：腸閉塞などの可能性がある場合、自己判断使用は危険である。

要点：便秘薬は、腹痛・吐き気・嘔吐を伴う便秘では使用前に相談が必要である。

Q172

便秘薬 | ◯×

問題：強い腹痛を伴う便秘では、刺激性便秘薬を増量して使うのが原則である。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：腸閉塞などの可能性がある場合、自己判断使用は危険である。

要点：便秘薬は、腹痛・吐き気・嘔吐を伴う便秘では使用前に相談が必要である。

Q173

止瀉薬 | 4択

問題：止瀉薬について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

ウ. 発熱や血便を伴う下痢は、止瀉薬で完全に止めるのが最優先である。

エ. 下痢に発熱、血便、粘液便を伴う場合は、止瀉薬で止め続けず受診を考える。

答え・解説

正答：エ. 下痢に発熱、血便、粘液便を伴う場合は、止瀉薬で止め続けず受診を考える。

超簡単な解説：感染性下痢などでは止めることで悪化するおそれがある。

要点：下痢に発熱、血便、粘液便を伴う場合は、止瀉薬で止め続けず受診を考える。

Q174

止瀉薬 | ◯×

問題：下痢に発熱、血便、粘液便を伴う場合は、止瀉薬で止め続けず受診を考える。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：感染性下痢などでは止めることで悪化するおそれがある。

要点：下痢に発熱、血便、粘液便を伴う場合は、止瀉薬で止め続けず受診を考える。

Q175

鎮咳去痰薬 | 4択

問題：鎮咳去痰薬について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 血痰が出る咳でも、一般用の咳止めを長期連用すればよい。

ウ. 長引く咳、血痰、息苦しさを伴う咳では、鎮咳薬だけで対応せず受診を勧め...

エ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

答え・解説

正答：ウ. 長引く咳、血痰、息苦しさを伴う咳では、鎮咳薬だけで対応せず受診を勧める。

超簡単な解説：肺炎、結核、心疾患などの可能性もある。

要点：長引く咳、血痰、息苦しさを伴う咳では、鎮咳薬だけで対応せず受診を勧める。

Q176

鎮咳去痰薬 | ○ ×

問題：血痰が出る咳でも、一般用の咳止めを長期連用すればよい。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：肺炎、結核、心疾患などの可能性もある。

要点：長引く咳、血痰、息苦しさを伴う咳では、鎮咳薬だけで対応せず受診を勧める。

Q177

点眼薬 | 2択

問題：点眼薬について正しいものはどれか。（基本確認）

選択肢

ア. 目の外傷や急な視力低下でも、市販点眼薬を使えば受診は不要である。

イ. 目の痛み、急な視力低下、外傷がある場合は、一般用点眼薬で様子を見続け...

答え・解説

正答：イ. 目の痛み、急な視力低下、外傷がある場合は、一般用点眼薬で様子を見続けない。

超簡単な解説：眼科受診が必要な症状を見逃さないことが重要である。

要点：目の痛み、急な視力低下、外傷がある場合は、一般用点眼薬で様子を見続けない。

Q178

点眼薬 | ○ ×

問題：目の痛み、急な視力低下、外傷がある場合は、一般用点眼薬で様子を見続けない。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：眼科受診が必要な症状を見逃さないことが重要である。

要点：目の痛み、急な視力低下、外傷がある場合は、一般用点眼薬で様子を見続けない。

Q179

水虫薬 | 4択

問題：水虫薬について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 水虫薬で強いただれが出て、効いている証拠なので塗り続ける。

イ. 水虫薬使用中に化膿、ただれ、強い刺激がある場合は、使用を中止し相談す...

ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

エ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

答え・解説

正答：イ. 水虫薬使用中に化膿、ただれ、強い刺激がある場合は、使用を中止し相談する。

超簡単な解説：副作用や別疾患の可能性があるのでため相談が必要である。

要点：水虫薬使用中に化膿、ただれ、強い刺激がある場合は、使用を中止し相談する。

Q180

水虫薬 | ○ ×

問題：水虫薬で強いただれが出て、効いている証拠なので塗り続ける。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：副作用や別疾患の可能性があるのでため相談が必要である。

要点：水虫薬使用中に化膿、ただれ、強い刺激がある場合は、使用を中止し相談する。

Q181

禁煙補助薬 | 4択

問題：禁煙補助薬について正しいものはどれか。

選択肢

ア. ニコチン製剤は、喫煙本数を増やしながら併用すると禁煙効果が高まる。

イ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

ウ. ニコチンを含む禁煙補助薬は、喫煙を続けながら使用しない。

エ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

答え・解説

正答：ウ. ニコチンを含む禁煙補助薬は、喫煙を続けながら使用しない。

超簡単な解説：ニコチン過量による副作用を避けるため、喫煙との併用は避ける。

要点：ニコチンを含む禁煙補助薬は、喫煙を続けながら使用しない。

Q182

禁煙補助薬 | 〇×

問題：ニコチンを含む禁煙補助薬は、喫煙を続けながら使用しない。

選択肢

〇 / ×

答え・解説

正答：〇

超簡単な解説：ニコチン過量による副作用を避けるため、喫煙との併用は避ける。

要点：ニコチンを含む禁煙補助薬は、喫煙を続けながら使用しない。

Q183

妊娠検査薬 | 2択

問題：妊娠検査薬について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 妊娠検査薬で陽性の場合は、医療機関を受診して妊娠の確認を受ける。

イ. 妊娠検査薬で陽性なら、医療機関での確認は不要である。

答え・解説

正答：ア. 妊娠検査薬で陽性の場合は、医療機関を受診して妊娠の確認を受ける。

超簡単な解説：異所性妊娠などの確認も含め、受診が必要である。

要点：妊娠検査薬で陽性の場合は、医療機関を受診して妊娠の確認を受ける。

Q184

妊娠検査薬 | 〇×

問題：妊娠検査薬で陽性なら、医療機関での確認は不要である。

選択肢

〇 / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：異所性妊娠などの確認も含め、受診が必要である。

要点：妊娠検査薬で陽性の場合は、医療機関を受診して妊娠の確認を受ける。

Q185

一般用検査薬 | 4択

問題：一般用検査薬について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

イ. 一般用検査薬で異常値や陽性が出た場合は、自己判断で治療せず医療機関に…

ウ. 一般用検査薬で異常が出ても、結果は診断ではないため放置してよい。

エ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

答え・解説

正答：イ. 一般用検査薬で異常値や陽性が出た場合は、自己判断で治療せず医療機関に相談する。

超簡単な解説：検査薬は受診の目安であり、診断・治療は医療機関で行う。

要点：一般用検査薬で異常値や陽性が出た場合は、自己判断で治療せず医療機関に相談する。

Q186

一般用検査薬 | ◯ ×

問題：一般用検査薬で異常値や陽性が出た場合は、自己判断で治療せず医療機関に相談する。

選択肢
◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：検査薬は受診の目安であり、診断・治療は医療機関で行う。

要点：一般用検査薬で異常値や陽性が出た場合は、自己判断で治療せず医療機関に相談する。

Q187

漢方薬の副作用 | 4択

問題：漢方薬の副作用について正しいものはどれか。

選択肢
ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。
イ. 漢方薬でも、発疹、胃腸症状、肝機能障害、偽アルドステロン症などの副作...
ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。
エ. 漢方薬は天然由来なので、副作用や相互作用は起こらない。

答え・解説

正答：イ. 漢方薬でも、発疹、胃腸症状、肝機能障害、偽アルドステロン症などの副作用が起こることがある。

超簡単な解説：漢方薬も医薬品であり、成分重複や体質不適合に注意する。

要点：漢方薬でも、発疹、胃腸症状、肝機能障害、偽アルドステロン症などの副作用が起こることがある。

Q188

漢方薬の副作用 | ◯ ×

問題：漢方薬は天然由来なので、副作用や相互作用は起こらない。

選択肢
◯ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：漢方薬も医薬品であり、成分重複や体質不適合に注意する。

要点：漢方薬でも、発疹、胃腸症状、肝機能障害、偽アルドステロン症などの副作用が起こることがある。

Q189

ビタミン剤 | 2択

問題：ビタミン剤について正しいものはどれか。

選択肢
ア. 脂溶性ビタミンなどは、過剰摂取により健康障害を起こすことがある。
イ. ビタミン剤は多く飲むほど安全に効果が高まる。

答え・解説

正答：ア. 脂溶性ビタミンなどは、過剰摂取により健康障害を起こすことがある。

超簡単な解説：ビタミン・ミネラルでも上限量や過剰症に注意する。

要点：脂溶性ビタミンなどは、過剰摂取により健康障害を起こすことがある。

Q190

ビタミン剤 | ◯ ×

問題：脂溶性ビタミンなどは、過剰摂取により健康障害を起こすことがある。

選択肢
◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：ビタミン・ミネラルでも上限量や過剰症に注意する。

要点：脂溶性ビタミンなどは、過剰摂取により健康障害を起こすことがある。

Q191

診断行為 | 4択

問題：診断行為について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 登録販売者は、販売時に医師と同じように疾病名を確定診断できる。

イ. 登録販売者は、症状から疾病名を確定診断するのではなく、一般用医薬品の...

ウ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

エ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

答え・解説

正答：イ. 登録販売者は、症状から疾病名を確定診断するのではなく、一般用医薬品の適正使用支援と...

超簡単な解説：登録販売者の役割は情報提供・相談対応・受診勧奨であり、診断ではない。

要点：登録販売者は、症状から疾病名を確定診断するのではなく、一般用医薬品の適正使用支援と受診勧奨を行う。

Q192

診断行為 | ◯ ×

問題：登録販売者は、販売時に医師と同じように疾病名を確定診断できる。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：登録販売者の役割は情報提供・相談対応・受診勧奨であり、診断ではない。

要点：登録販売者は、症状から疾病名を確定診断するのではなく、一般用医薬品の適正使用支援と受診勧奨を行う。

Q193

セルフメディケーション | 4択

問題：セルフメディケーションについて正しいものはどれか。

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

ウ. セルフメディケーションとは、重い症状でも医療機関を受診せず市販薬だけ...

エ. セルフメディケーションは、軽度な体調不良に対し自ら健康管理し、必要に...

答え・解説

正答：エ. セルフメディケーションは、軽度な体調不良に対し自ら健康管理し、必要に応じて専門家へ相談する考え方である。

超簡単な解説：適切なセルフメディケーションには限界判断と受診勧奨が含まれる。

要点：セルフメディケーションは、軽度な体調不良に対し自ら健康管理し、必要に応じて専門家へ相談する考え方である。

Q194

セルフメディケーション | ◯ ×

問題：セルフメディケーションは、軽度な体調不良に対し自ら健康管理し、必要に応じて専門家へ相談する考え方である。

選択肢

◯ / ×

答え・解説

正答：◯

超簡単な解説：適切なセルフメディケーションには限界判断と受診勧奨が含まれる。

要点：セルフメディケーションは、軽度な体調不良に対し自ら健康管理し、必要に応じて専門家へ相談する考え方である。

Q195

相談対応 | 2択

問題：相談対応について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 販売時の相談では、症状や併用薬を確認せず、最も高価な薬を勧める。

イ. 販売時の相談では、誰が、いつから、どのような症状か、併用薬・持病・妊...

答え・解説

正答：イ. 販売時の相談では、誰が、いつから、どのような症状か、併用薬・持病・妊娠の有無などを確認する。

超簡単な解説：適切な薬の選択と受診勧奨のため、情報収集が重要である。

要点：販売時の相談では、誰が、いつから、どのような症状か、併用薬・持病・妊娠の有無などを確認する。

Q196

相談対応 | ○ ×

問題：販売時の相談では、症状や併用薬を確認せず、最も高価な薬を勧める。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：適切な薬の選択と受診勧奨のため、情報収集が重要である。

要点：販売時の相談では、誰が、いつから、どのような症状か、併用薬・持病・妊娠の有無などを確認する。

Q197

服薬間隔 | 4択

問題：服薬間隔について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

イ. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

ウ. 1日3回服用の薬は、服用間隔をできるだけ均等にし、自己判断で短時間に...

エ. 飲み忘れた分は、次回にまとめて2回分以上服用するのが原則である。

答え・解説

正答：ウ. 1日3回服用の薬は、服用間隔をできるだけ均等にし、自己判断で短時間にまとめて服用しない。

超簡単な解説：服用間隔を詰めると過量になり、副作用リスクが高まる。

要点：1日3回服用の薬は、服用間隔をできるだけ均等にし、自己判断で短時間にまとめて服用しない。

Q198

服薬間隔 | ○ ×

問題：1日3回服用の薬は、服用間隔をできるだけ均等にし、自己判断で短時間にまとめて服用しない。

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：○

超簡単な解説：服用間隔を詰めると過量になり、副作用リスクが高まる。

要点：1日3回服用の薬は、服用間隔をできるだけ均等にし、自己判断で短時間にまとめて服用しない。

Q199

アレルギー歴 | 4択

問題：アレルギー歴について正しいものはどれか。

選択肢

ア. 一般用医薬品では、添付文書や外箱表示を確認する必要はない。

イ. 過去に医薬品で発疹、かゆみ、息苦しさなどのアレルギー症状を起こした人...

ウ. 症状が強い場合は、自己判断で用量を増やして継続するのが原則である。

エ. 過去に薬でアレルギーを起こしても、一般用医薬品なら確認不要で使...

答え・解説

正答：イ. 過去に医薬品で発疹、かゆみ、息苦しさなどのアレルギー症状を起こした人は、同系統成分の使...

超簡単な解説：再投与で重いアレルギー反応が起こることがあるため、既往歴の確認が重要である。

要点：過去に医薬品で発疹、かゆみ、息苦しさなどのアレルギー症状を起こした人は、同系統成分の使用前に相談する。

Q200

アレルギー歴 | ○ ×

問題：過去に薬でアレルギーを起こしても、一般用医薬品なら確認不要で使...

選択肢

○ / ×

答え・解説

正答：×

超簡単な解説：再投与で重いアレルギー反応が起こることがあるため、既往歴の確認が重要である。

要点：過去に医薬品で発疹、かゆみ、息苦しさなどのアレルギー症状を起こした人は、同系統成分の使用前に相談する。